

## 国立病院機構函館病院からのお知らせ

臨床研究 「免疫抑制患者に対する 13 価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 -二重盲検無作為化比較試験-」に参加された患者さまへ

この臨床研究に参加された患者さまから採取した検体のうち、一部を海外の検査機関に送ることになりましたので、国の指針に基づき、お知らせいたします。具体的には、血清特異オプソニン活性（免疫反応）を測定するため、血液を、莢膜型（肺炎球菌の種類）を調べるため、尿を海外の検査機関に送ります。なお、検体には、患者さまの氏名などは記載せず、臨床研究用の番号を付けて送るなど、個人情報の取り扱いに十分配慮いたします。

ご質問等がありましたら次の連絡先までお問い合わせ下さい。

### 【実施医療機関の研究責任者の連絡先】

国立病院機構函館病院

〒041-8512

函館市川原町18-16

TEL：0138-51-6281

研究責任者：外科 医長 小室一輝

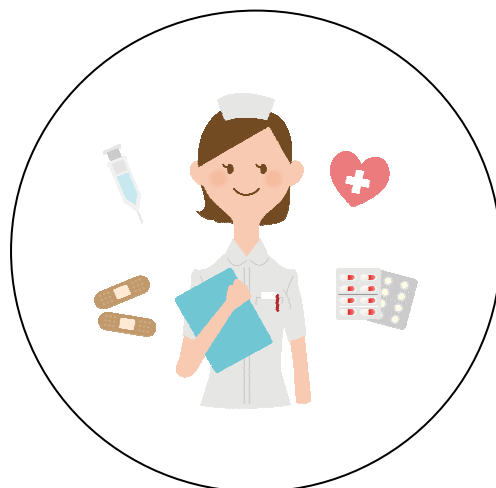
### 【研究代表者（臨床研究全体の責任者）】

国立病院機構三重病院 呼吸器内科

〒514-0125 津市大里窪田町 357

TEL: 059-232-2531

研究代表者：呼吸器内科 医師 丸山貴也



### <臨床研究の概要>

|            |  |
|------------|--|
| 研究の名称      | 免疫抑制患者に対する 13 価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と 23 価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 -二重盲検無作為化比較試験-          |
| 研究の目的      | 免疫力が下がっている患者さまを対象に、日本で行われているワクチン接種（PPSV23）と比較して、アメリカなどで行われているワクチン接種（PCV13/PPSV23）の方が肺炎球菌感染の予防効果が高いかどうかを調査する。 |
| 研究期間       | 2022年4月まで  |
| 海外に送付する試料  | 採取検体（血液、尿）   |
| 送付目的       | 血液：血清特異オプソニン活性測定のため。<br>尿：莢膜型検出のため。  |
| 送付方法       | 郵送にて送付   |
| 研究代表者氏名・所属 | 丸山貴也（国立病院機構三重病院 呼吸器内科）   |

第 1.0 版 2017 年 11 月 27 日

第 1.1 版 2018 年 4 月 5 日